

やまざと

会報12号 ('99冬号)



ミレニアム行事

- M1 スキー合宿 i n 野沢 (第3回OBスキー合宿)
2月26日(土) 27日(日) 野沢温泉「ふるさと」
- M2 お花見コンパ
4月15日(土) 夕方5時より 沈床園
- M3 マルチトレニング i n 倉谷
5月12日(金) - 14日(日) 倉谷ベルクハイム
- M4 花・星・人 i n 南竜
8月5日(土) 6日(日) 白山南竜ケビン

金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

目 次

*表紙	21期 竹中 敏	2
*会報「やまざと」によせて	会長 15期 奥名 正啓	3
*行事案内		4
*パソコンによる山岳展望の楽しみ	11期 長岡 正利	5
*北国女流美術展 最高賞	7期 村田 泰恵	10
*秋の小屋酒場 13期 辰野隆義 13期 吉田穂積 15期 舟田節子		
0期 田村昭夫 13期 吉本良治		11
*鈴鹿7マウンテンを制覇!	4期 森島 稔	20
*ある晴れた晩秋の日に 白山源流 他	19期 梅 典雅	31
*秋の雨飾山山行と温泉	23期 鳥越 伸博	37
*蒲原良太郎の追悼山行日誌!!	36期 蒲原 道子	38
*拡大15期会木曾岬大会報告		
15期 祖父江直久 佐野哲雄 舟田節子		42
*23期越前海岸海水浴同期会	23期 石地 隆司	46
*OB一言通信		54
*ワングルHP 100m級低山紀行	15期 奥名 正啓	62
*E-MAIL便り		64
*会計報告		94
*住所変更 他		96
*現役小屋作業	42期 石川 真心	98
*冬合宿	顧問 前田 達男	103
*新聞切り抜き		105



もう18年も前に南竜の天場で夏毛のオコジョ君に会いました。ごろごろした石積みのところをうろちょろしていて、あっちの隙間かと思えばすぐ足元の穴から顔を出したりして、もぐらたたきをしているような気分になりました。じっとしていたら石ころと思ったのかぼくの足を駆け登ってきて、胸のところで立ち止まり顔を覗き込んでしばらくクンクンやったあと、あっという間に駆け下りてどっかの隙間に消えました。

オコジョもクマも、野生のいきものはなんでこんな厳しい自然の中で生きているのだろうと思ってしまいます。でもこれも人間中心の考えなのかもしれません。案外動物たちは、それぞれの環境でタノシク生きているのかもしれません。鳥のさえずりはテリトリーを守る為の誇示行動であるとかいう話をよく聞きますが、なんとなく歌いたいからさえずる時もアルト思います。いろんな事を思いながら動物たちを見ていると、人間もおなじだなとおもえてきたりします。

山へ行く事も少なくなりましたが、会社でパソコンの画面に向かっているそのまったく同じ時間に白山の山の上のどこかで、オコジョが走り回っているのだと思うと、なんとなく嬉しいような気持ちになります。

また、いつか、オコジョの居る場所へ行って、ホンモノのオコジョ君に会いたいと思っています。

竹中 びん

会報「やまざと」によせて

OBの皆様、それぞれにご活躍のことと思います。

いよいよ1900年代も終わり2000年代の幕が上がりました。同じ一年の違いも今度ばかりは一つの大きな節目だと感じる方も多いことでしょう。よく「ものは考えよう」というようにすべてはその人の受け取り次第でどうにでもなります。2000年はとっても素晴らしい年になると思えばきっとそうなります。そして必要なことは「勇気」と「決断」です。あなたの頭上にも私の頭上にもいろいろなチャンスが引きも切らずに飛び交っているはずですが、はずれ籤をひいてはいけないといつまでも手を出さないでいると、チャンスは皆通り過ぎていってしまいます。思い切って手を出してみることも人生には必要なことではないでしょうか。

さて、我がOB会も2000年にあたり、というわけではありませんが少しずつOB会としての活動を広げてゆきたいと思っています。これまで恒例となってきた「小屋酒場」「OBスキー合宿」はもちろん継続して実施していくつもりですし、さらに参加者の広がりをめざしたいところです。OBスキー合宿は11期の皆様の大きな尽力に支えられ次第に参加者が増えてきているようです。一方「小屋酒場」は地元金沢でありながら地理的な条件の悪さからか（これが幸いして今でもあなたが現役で活躍していた頃とほとんど変わっていません）参加者が少なくしかも同じメンバーに固定されてきています。さあ、あなたもちょっと浮き世をはなれて、時空をも超えてベルクハイムへ立ち寄ってみませんか。

ベルクハイムは永遠不滅ではありません。年を経るごとにあちこち傷みがでてきています。彼の場合、傷みを放っておくとたちまち致命傷になりかねません。毎年きちんとメンテナンスしてあげないといけません。昨年水洗トイレが

足かけ3年の難工事の末とうとう完成し、ワンルーム時代の幕をとじました。

しかし一方で床の傷みが激しく、あちこちで踏み抜かれる事態となって修理の必要があります。今年はその床の張り替えを予定しています。昼間はみなさんの有り余る力を修理代に相転移させて、さらに余る方は高三郎へでも散歩に、夜は片町はちょっとばかり遠いので諦めて、力の元を存分に補給していただけたらと願っております。

とれたての山菜を味わえる5月に行う予定です。ねっあなた、行きましょよ。

今年2000年平成12年ミレニアムには、我々を迎え送り出してきた石川門を見上げつつ、数々のエピソード、コキジのしみこんだ沈床園にてお花見コンパを行うつもりでいます。皆様天候に恵まれるよう今からお祈りし、ぶらりと来てください。

さらに、夏には白山（南竜）でお会いしましょう。

ビシッとした計画でなく怠慢の誹りを受けるやもしれませんが、みなさん一人のワネルの大人として適当に参加できるよう心づくしの現れとお考えください。

閑話休題。

金沢城跡地は来る2001年秋に催される全国都市緑化石川フェアに向けて整備や菱櫓や五十間長屋などの歴史的建造物や石垣・堀などの復元工事が行われています。大学の建物だって歴史的建造物ではないか。その計画図が目の前にありますが、これが完成したあかつきにはかつてここに大学があったということは想像できないものとなるでしょう。そういう意味では、城内で騒いでいたOBの方たちにとっては無念やるかたないでしょうが、かわいい孫の門出と思って行く末を見守ってあげましょ。

20世紀最後の年が皆様にとってよい年となりますよう願っております。そしてOB会にとっても。

* ミレニアム行事のお知らせ *

2000年行事連続開催！！

お待たせしました。デパートの餌食になるのをよしとしないKUWVOBの皆様へ、とっておきの行事ご案内です。あなたならではのミレニアムの思い出を刻んでみませんか！

あれは30年前。紅顔の美少年、美少女達が石川門をくぐり、そのライトアップの元、ワングルの洗礼を受けました。山あり谷ありの人生を生き抜き、な、なんと、今では、OB会長、副会長、事務局長のそろい踏み。乗りやすい性格も累乗され、「この面子なら、15期会もOB会も一緒やないけ。この際まとめて面倒みるべ！」狼狽するお当番の松林君には入部30周年記念大会実行委員長の称号を奉り、全員役付き兼実行部隊の陣容で策を練っています。

おりしも世間はミレニアム。こだわりの地、こだわりの人・・・夢に終わらせず、訪ねてみませんか？会ってみませんか？

この指とまれ！

M1 スキー合宿 i n 野沢 (第3回OBスキー合宿)

2月26日(土) 27日(日) 野沢温泉「ふるさと」

M2 お花見コンパ

4月15日(土) 夕方5時より 沈床園

M3 マルチトレニング i n 倉谷

5月12日(金) - 14日(日) 倉谷ベルクハイム

M4 花・星・人 i n 南竜

8月5日(土) 6日(日) 白山南竜ケビン



M1・・・2月10日までに返信必着。以降の変更・詳細は奥名宛。

(事務局不在につき、対応できません。)

M2・・・フリー。2000円程度しのばせて・・・雨天適当。

M3・・・3月末までに、ノミネート。詳細お知らせします。

M4・・・ケビン利用希望は、3月末締切。南竜荘、テント利用はフリー。

その日に行ったら、ワングルOBがたむろして酒飲んでるよ！が

スタンス。基本は自己責任。声かける方も参加する方も気楽に。会える

機会を増やそう。M2、M4は今後も続けばいいな・・・

以上、返信はがき利用か、HPでお知らせ下さい。

なお、経費削減につき、メールアドレスお持ちと判明している方には

返信はがきはカットされています。将来的に、返信はがきは用意しない

予定です。

パソコンによる山岳展望の楽しみ

11期OB 長岡正利

はじめに

まずは、添付のカラーコピーをご覧ください。

パソコンで作った、白山からの可視域図です。上図が広域版、下がその中央部の拡大。いずれも、白抜きとした部分が、白山山頂から見える部分（逆に、白山を望見することのできる地）です。

昔の記憶を呼び起こしていただければ、北東方から南東方にかけては、北アルプス北端の山々から乗鞍岳まで。さらに、御嶽山、恵那山などの眺望が思い浮かぶことでしょう。富山平野や加賀平野、能登半島から白山が見えるのは当然として、意外なのは、濃尾平野のほぼ全域や志摩半島、丹後半島の山々、さらに中国山地からも原理的には見えていること。六甲山からも白山は見えます。

また、白黒コピーの方は、上図が、白山御前ヶ峰から東を見た展望図。下は、大汝ヶ峰から北方を見たもので、その眺めをパソコンで描いたものです。全体の景観は、紅葉に新雪のきた後の晴れ上がった日。空にはのどかに雲がたなびき、という状況を再現。ちょうど、焦点距離35mmのカメラで撮ったと同じ画角にして、見えている山には山名ラベルを付してあります。

この種の可視域図や展望図が、お手持ちのパソコン（ただし、ここで紹介のソフトはWindows対応）で、簡単に作ることが出来ます。必要なものは、パソコンのほかは、標高データ。インターネットからダウンロードできるこのフリーソフトについては、インターネットを利用できる環境にならない方については、誰か知人を介してインターネットからFDで入手してのインストールも可。

日本国内の山を対象とするのであれば、標高データとしては、「数値地図250mメッシュ(全国)」(7500円)が、国土地理院の地図を扱っている書店で購入可。地図同様に、通信販売（日本地図センター：Tel. 03-3485-5414）も可能です。

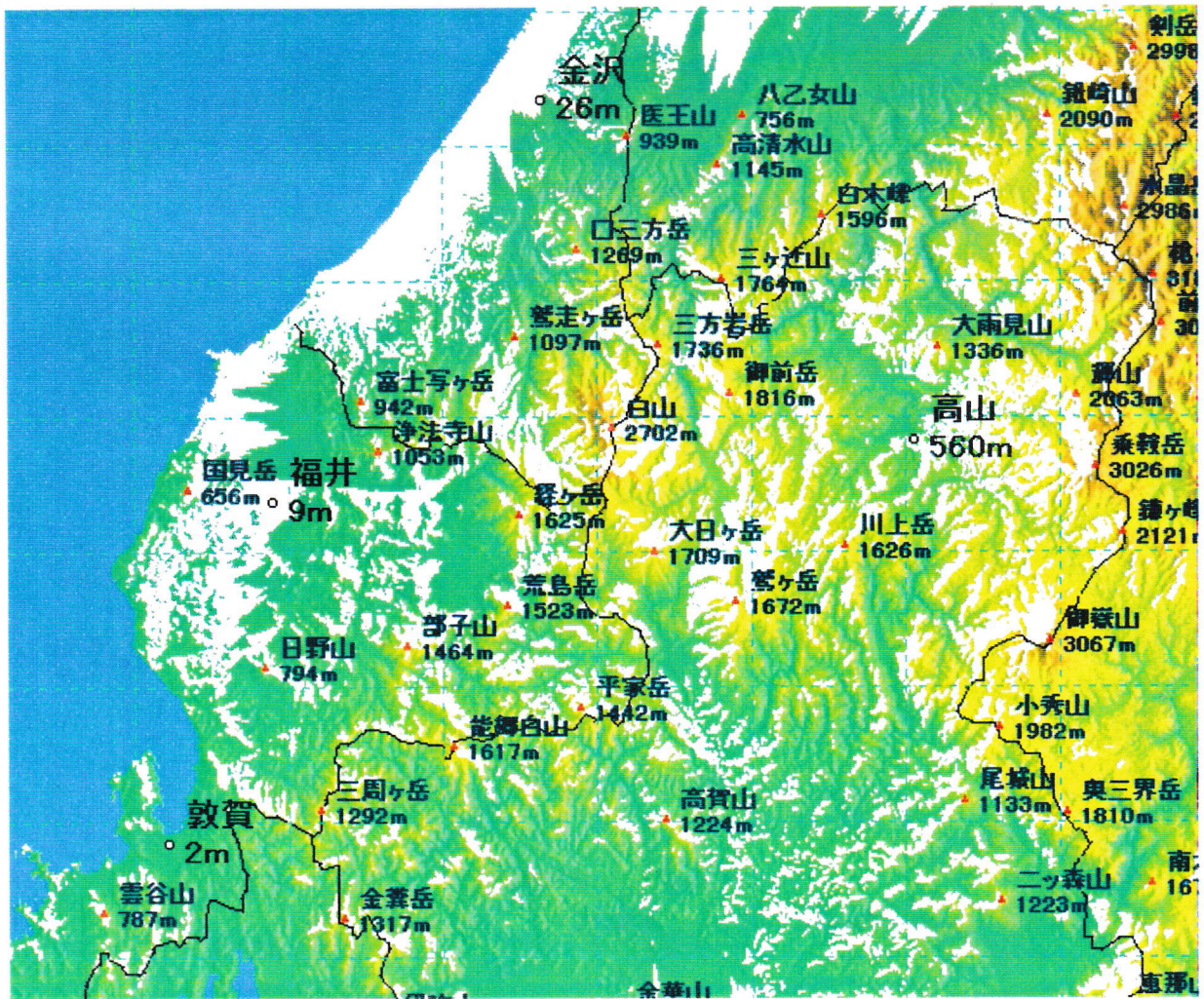
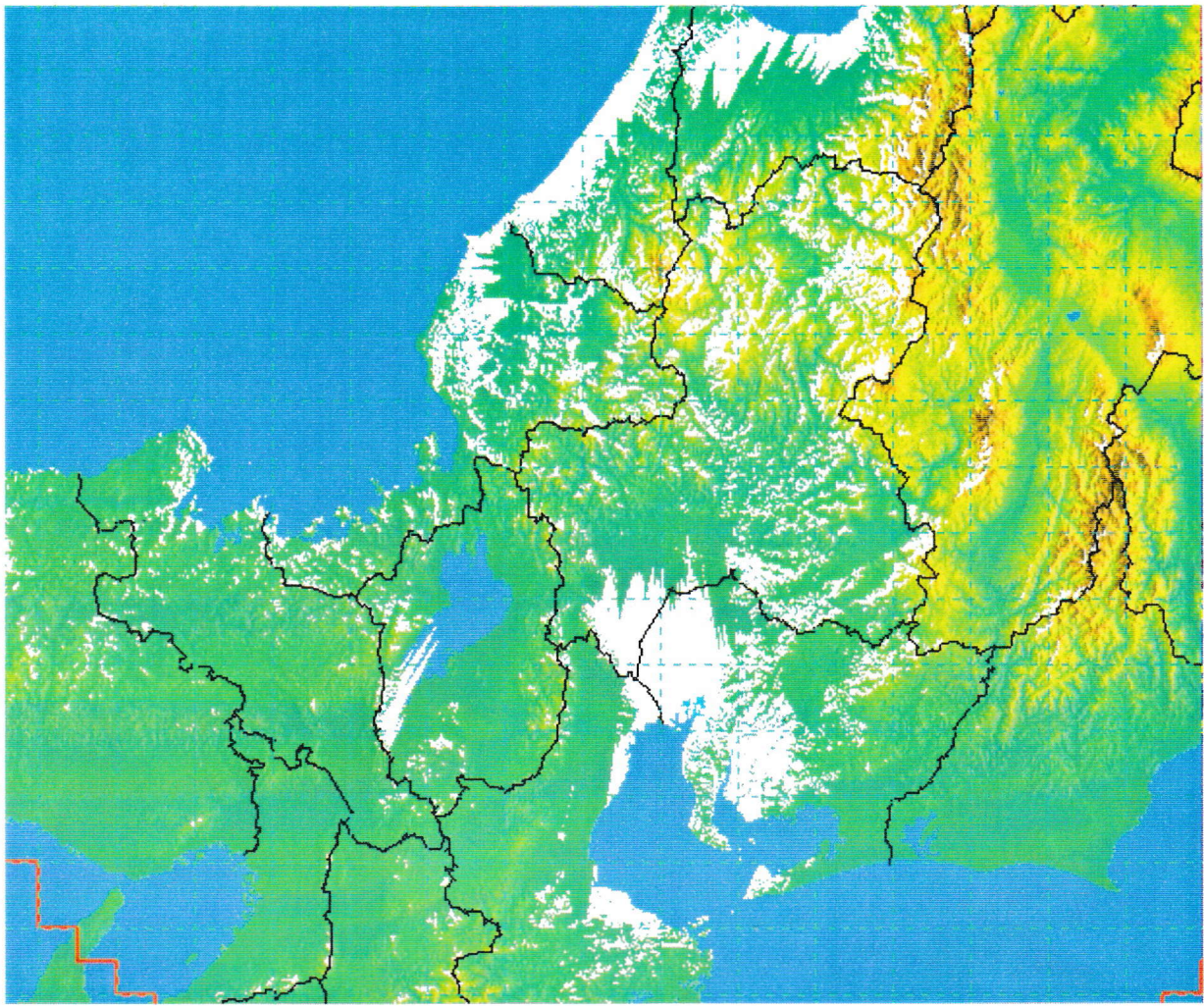
山にお出かけの際、広域にわたる地図を取り出しての山座同定も楽しいものです。しかし、山上での限られた時間のなかでは、そう簡単でもありませんので、あらかじめお出かけの前夜にこのシステムで図を作っておく。あるいは、自分の住んでいるところから時折かすかに見えるあの山は何。一方では、もう行くこともないであろうあの山上での眺望はいかばかり、などの場合に、このソフトは大変な威力を発揮します。

他にも、いろいろな機能があります。詳しくは、このソフトをお作りになった「DAN杉本」（注：パソコン通信でのハンドル名）さんによる、インターネット・ホームページ「3D風景のページ」（下記URL）をご参照下さい。ここから、ソフトのダウンロードも可能です。また、大変詳しい説明があって、「ユーザズボード(掲示板)」に質問などを書き込むと、作者からの詳しい返事が頂けます。

<http://www.kt.rim.or.jp/~sugi/>

なお、このソフトは作者のご努力によって日々改良されており、12月下旬時点でのものはVer6.0 Beta 6です。本稿で掲出の図は、確かVer. 5.0で作った筈で、現在のバージョンによるものとは少し違います。

以下で、この多彩なソフト「カシミール3D」について、作者による解説を利用して説明します。



「カシミール3D」の概要

「カシミール(Kashmir)」は、山岳展望の解析、リアルな3D風景・景観CGの作成、リアルタイムフライトシミュレーション、ハイパーマップの作成などが可能な多機能ソフトです。

もともとはその名前が暗示するように、可視マップ（ある山が見える範囲を地図上にプロットしたもの）の作成を目的として、DAN杉本さんが1994年に最初に発表されたもので、充実した山岳展望機能のほか、現在のバージョンでは、3次元CG（コンピュータグラフィックス）の機能もパワーアップして、実景に迫るリアルな鳥瞰図を作成、ムービー作成をはじめとした機能、Ver.6.0からはプラグイン機能を搭載し、多彩な機能を後から追加することができるようになっています。

扱える数値地形データも、国土地理院の数値地図から、USGS（アメリカ地質調査所）、スイス地理局の地形データまで多種あるので、世界中の地形を楽しむことができます。

【動作環境】 Windows95/Windows98/WindowsNT4/Windows2000の動作する機種

【推奨環境】 Pentium 120MHz 以上 / メモリ20Mbytes以上 / ハイカラービデオ推奨

【3Dアクセラレータ】 DirectX5 以降に対応。なくても可。

【種 別】 フリーソフトウェア

主な機能には、次のようなものがあります。

各種デジタル地図を利用して、細部にわたってカスタマイズ可能な多彩な地図表現。

地形断面図の作成機能。

山岳展望機能：可視マップ（本稿のカラーコピー）の作成、見通しの判定、山岳展望解析など。
展望図（本稿で紹介の白黒コピー図）の作成。

2点間の見通しを一発判定：地球の丸み、気差の影響などを考慮して判定。地形断面も作成。

ある山や地点からの、見える山のリスト作成。

リアルな風景CGの作成：標高データから、リアルな風景CGを作成。雲や霧、レンズフレアも。

ゲーム感覚のリアルタイム3Dエンジンを搭載：あらゆる山や谷を自由に飛び回ることが可能。

各種データの作成：地名、湖、GPSデータなどを地図上に作成して表示。

ほかにも多くの専門的機能があり、計算速度などを見ても、パソコンを限界まで駆使しているようなソフトウェアです。

参考書など

以上については、小生も参画している「山の展望と地図」（FYAMAP：@Niftyのフォーラム）の有志が執筆した次の書が参考になります。どうぞ、ご覧下さい。

『パソコンで楽しむ山と地図』実業之日本社、1997年、2000円

第1部で、パソコンを前提にした、山と地図の解説。

第2部で、FYAMAPが関係した、代表的なソフト・データの解説。

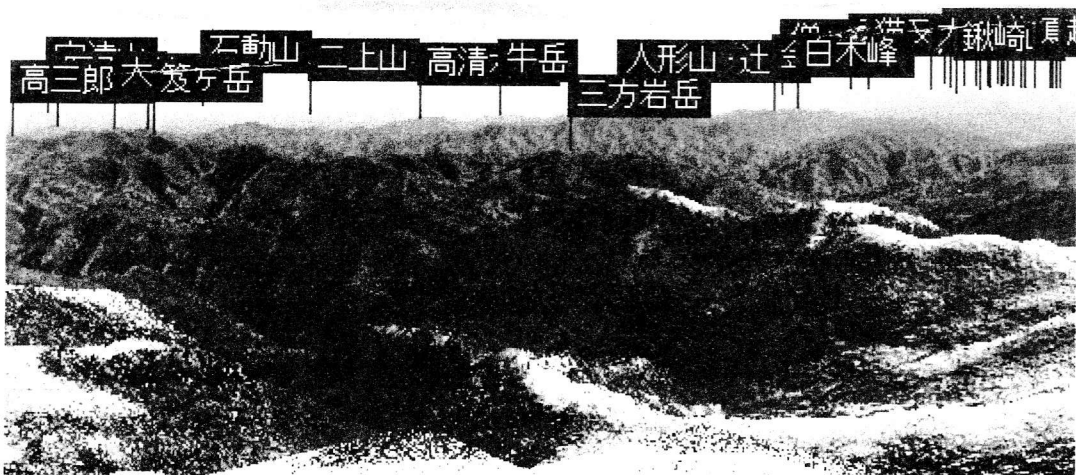
ここで紹介の「カシミール」以外にも多くのソフト。Mac版もあります。

『富士山展望百科』実業之日本社、1998年、2200円

富士山を見る、眺めるという点に絞って、様々な話題・情報・写真・データを集めた本。

第4編「富士を見続ける」は、富士山の観察、撮影、描画にこだわって。古地図の世界も。

なお、以上の説明またはソフトのダウンロードについてご質問があれば、あるいは、パソコンは不得手なのでどこかの山頂からの可視域図を作ってほしいなどのご依頼があれば、どうぞ遠慮なくご連絡下さい。



99年10月14日

10月9、10、11日と立山から入り、大日岳から称名へ抜けました。9日の午後金沢を出、「雷鳥沢ヒュッテ」で一泊、二度も温泉につかり、満天の夜空を眺め、久々に流れ星にも出迎え、幸せな気分です。因に、30年前に「剣山荘」でバイトをした際の色あせた証拠写真持参で、宿泊料が25%も安くなるというおまけも付いていました。

翌日も快晴の中、写真を撮りながらのちんたら道中で「大日小屋」を目指しました。10センチ程の霜柱が朝日を受けて、カサツ、カサツと崩れ落ちる音が耳に心地よく響きました。室堂、雷鳥沢では紅葉は今一つでしたが、それを補って余りある剣の威容、立山三山の姿でした。尾根道から眺める室堂平や噴煙をあげる地獄谷の景観もまた、見応えのあるものでした。

我が故郷の山、白山も雲一つなく、くっきりと大きく輝いて見えました。風が全くなく、ぽかぽか陽気の中、カップラーメンを作り、パンを焼き、温かい紅茶をすすり、これぞ至福の極み以外の何物でもありません。

昼過ぎには、「大日小屋」に到着しましたが、先を急ぐこともなく、ここで一泊、時間と共に変わりゆく剣、立山、白馬、雪倉、毛勝等々の姿を堪能しました。闇の中に輝く早月尾根や白馬の小屋の明かりが、とても近くに感じられ、8月に登った白馬三山の山行がなつかしく蘇って来ました。

御来光は物ぐさを決め込んで、小屋の前で、カメラ片手に、刻々変化する雲の色の美しさと、その形の面白さに見とれてしまいました。

最終日、大日平への下り、下る毎に色鮮やかとなる木々の葉、対面の弥陀ヶ原の紅葉の素晴らしさ、「今年の紅葉はあまり見応えがない」とは、とても言えないものでした。ここまで来た甲斐があったと思わせられるに十二分な美しさでした。でも、大日平への下り、20米ばかり、道を外れて、沢に入ってしまった。でも、岩が乾いていたので、直に道を外れたことに気が付き、事無きを得ましたが、これが雨に日だったらと、ぞっとしました。単独行はこんな時が、怖いですね。

とにも角にも、無事称名に下り立ち、豪快に流れ落ちる称名滝に別れを告げ、今年の紅葉見物も無事に終わり、後は、写真の出来具合を、期待半分、不安半分で待つのみです。 7期 村田

北

国

平成11年(1999年)11月6日(土曜日)

石川総合1

(34)

繊細、鮮やか 個性光る



写真

村田泰恵さん

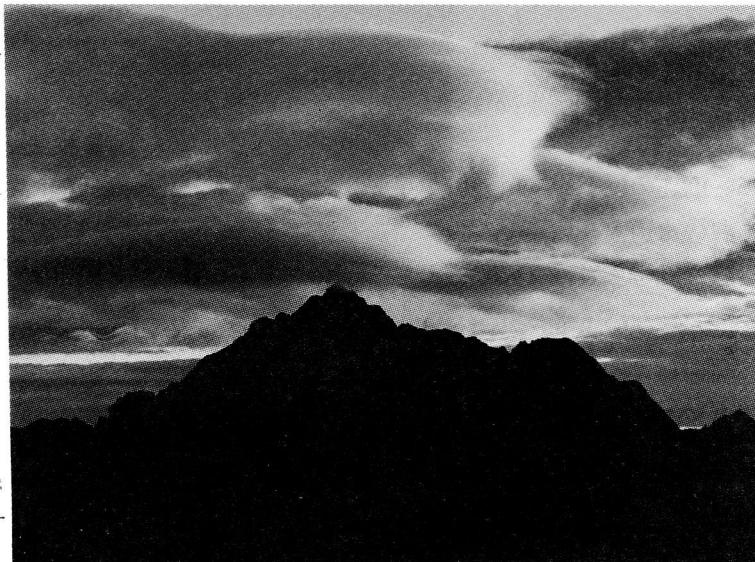
最 高 賞

入賞・入選作品は部門別に、第一科(日本画・水墨画)十六点、第二科(水彩・版画)百二十八点、第三科(彫塑)二点、第四科(工芸)三十点、第五科(書)八十七点、第六科(写真)三十五点だった。入賞・入選作は十一日から十五日まで、金沢市の香林坊大和八階ホールで展示される。入賞・入選出品は次の皆さん。

北國女流美術展

11日から
香林坊大和

第十四回北國女流美術展(財団法人石川県美術文化協会、北國新聞社主催、テレビ金沢、エフエム石川、北國新聞文化センターなど後援)の作品審査は五日行われ、最高賞に水越八寿子さん(日本画)、南部志津子さん(洋画)所司郁世さん(彫刻)、川元恵美子さん(工芸)、出村礼子さん(書)、村田泰恵さん(写真)の作品が選ばれた。入賞を含む入選者は二百九十八人だった。



◇写真▽金沢市長賞

神々の刻

村田 泰恵

ベルクハイムの給排水設備 についての考察

山小屋酒場代表おやじ
13期 辰野 隆義

今回の作業で、ベルクハイム回りの給排水設備工事は一応完了した。

生活に必要な水を引いてくる工事、そして念願の水洗便所。実に3年の歳月と、多大な人力を要した工事だった。

この間御協力くださった方々に深く感謝申し上げます。

さて、山小屋作業が一つの節目を迎えたところで、これまでの給排水設備工事について振り返り、若干の専門知識を加えながら、考察してみようと思う。

1. 給水設備計画

数年前までの現役部員は、ベルクハイムには水がないものと思っていたらしい。が、我々の現役の頃は、小屋の前にはパイプを通して水が滔々と流れ出ていた。

しかしこの水道は、秋の小屋仕舞いには長いパイプを巻き取り、春には再度設置するという厄介なものだった。そのうえ、取水口はパイプをそのまま沢に突っ込んだだけ。砂や枯葉などの異物も吸い込まれるため、配管途中で詰まるのが当たり前。切っては継ぎ、切っては継ぎの名入芸ならぬ迷人芸が施されたパイプは満身創痍のつわものとなり、いつか横たわるのみとなったのである（作業中に少しずつ焼却処分しました。）

ベルクハイムの立地条件に、前述の反省を加え、「なるべく手間のかからない水道」を目指し、立案した。

イ) 取水口。枯葉等の異物が混入しないよう、ステンレス製のストレーナー（網カゴ）を設ける。後で分かったことだが、カゴが砂で埋まってしまった時の再調整の便宜のために、蓋をも

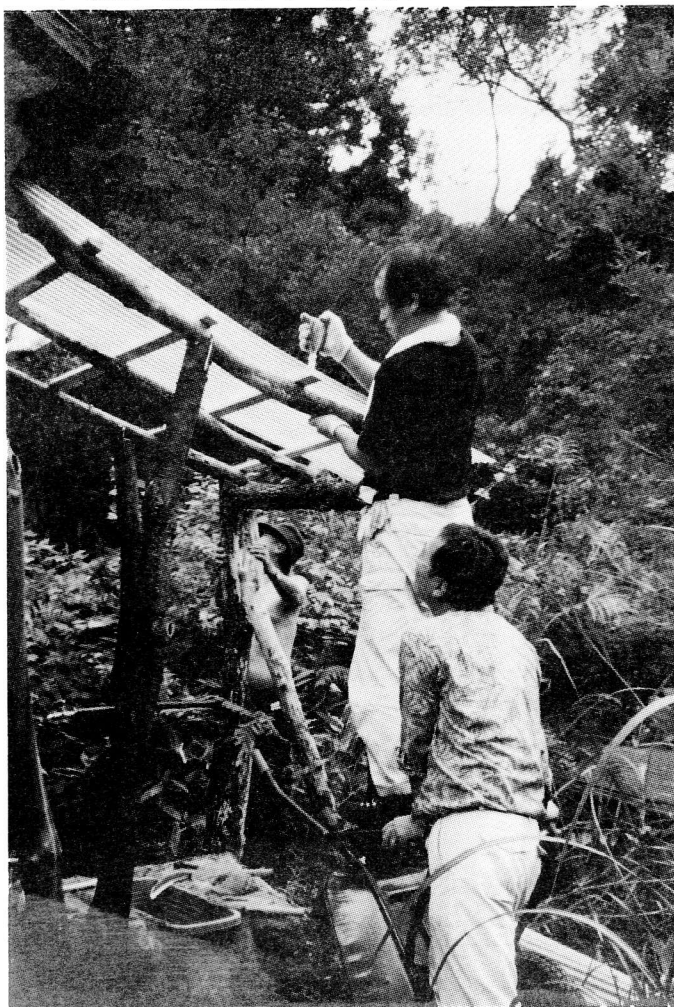
っと外し易くすべきだった。一度大雨でカゴを流されてからは、蓋はつけていない。

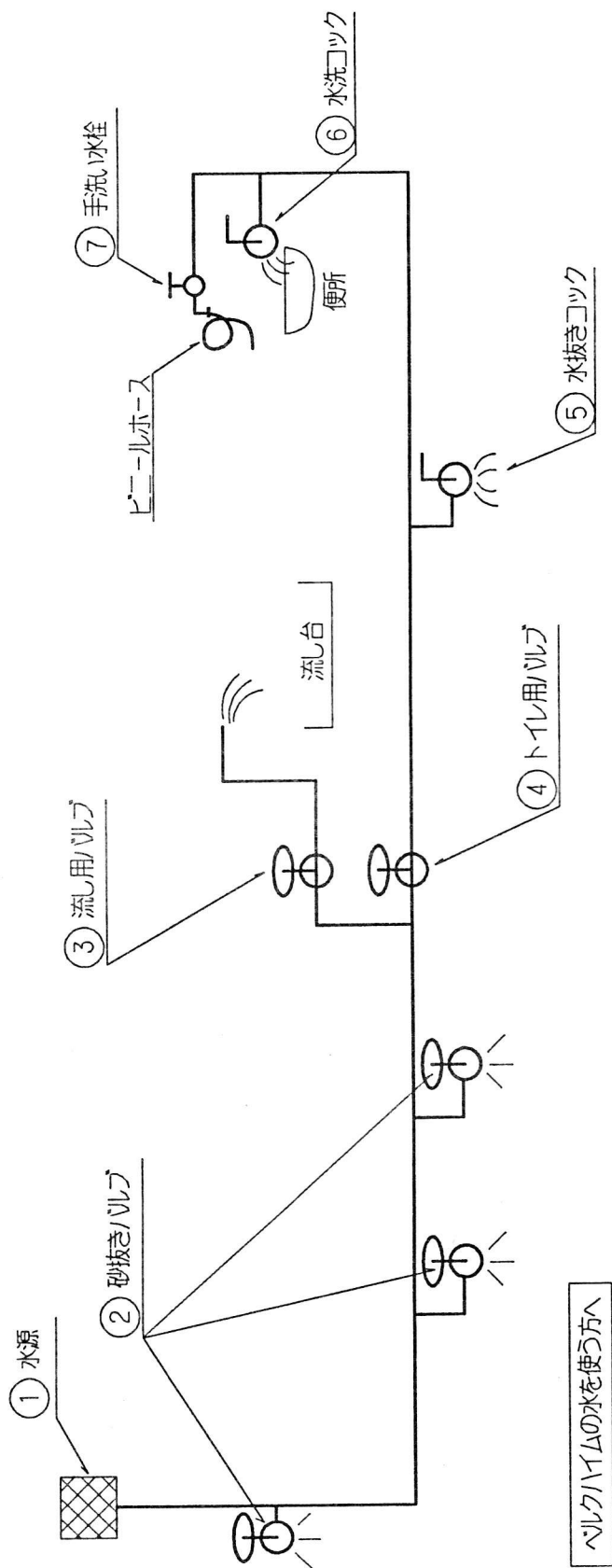
ロ) パイプの選択。現在では多種の配管材が市場に出回っている。扱い易さ、価格、可とう性、重量などから、昔と同じポリエチレン管とした。管径については、詰まりにくい水量を流せ、扱い易い（現場までの搬入と、現地での施工）の観点から25mm又は30mmが妥当と判断。

参考までに、給水に使う配管は9、13、20、25、30(32)、40、50、一等とあり、一般家庭の引き込み径は13ないし20mm、洗面台下の銀色パイプなら9mmとなる。流量でいえば、30mmポリパイプが毎分50-70lでこれは家庭風呂を4分以下で満杯にできる量となる。（目ではもっと多量に流れているように見える）

昔使っていたパイプは20か25mmだと思えるので、今回は30mmにサイズアップ。途中の詰まりを発生しにくくする対処とした。（これは大正解だった。）

ハ) 施工 配管途中での詰まりチェックと、砂





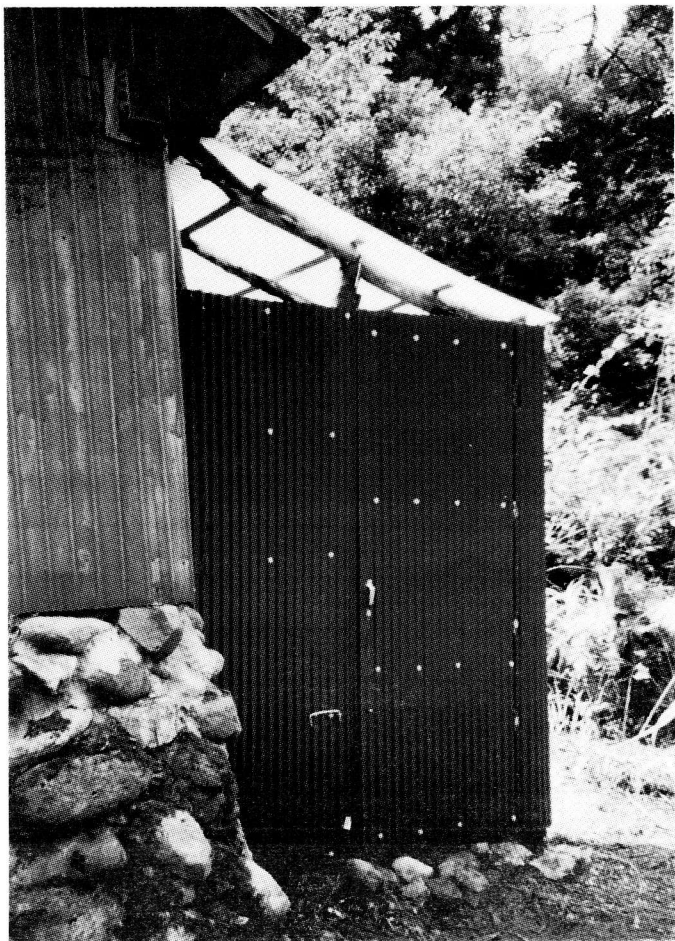
- 1) 流し台に水が出ていない場合は、①水源へ行き、ステンレスかごの中の砂や枯れ葉等を取り除いてください。この時、絶対素手で作業をしないでください。
ステンレスのネットを手を切る恐れがあります。
- 2) その後、砂抜きバルブ ② を順に開けて、水が流れていることを確認してください。この時、水が出ないバルブがあれば、それ以前で配管の詰まりがあるので、探して木槌でたたく等してください。水を確認してから、バルブは閉めてください。
- 3) バルブ ③④ は開けておいてください。
- 4) コック ⑤ (かまどの奥にあります)は水が流れ出ないようには開けておいてください。

便所を使う方へ

- 1) 天然水水洗ですので、使用前からコック ⑥ をまわして、充分水を流しながら、汚物、臭い、音等を洗い流してください。
- 2) 手を洗うとき、または意に反して汚した場合、水栓 ⑦ を使って洗い流してください。

帰るとき

- 1) バルブ ④ を閉める。
- 2) コック ⑥ と水洗 ⑦ を開け、水抜きコック ⑤ を開けて配管の中の水を完全に抜いてください。これを忘れると、凍結して配管が破損する恐れがあります。



除去のため、3ヶ所の水抜きバルブを、砂が溜まり易そうな箇所に設置した。しかしながら詰まり防止の為に十分な流量が、流し口では大量すぎて使いにくいという事態を招いた。この為、手前に分岐配管を設けて、2個のバルブの調整により適量を得られるようにした。。

この時の単なる思いつきで設けた分岐管が、次の段階で、水洗便所の発想を導き出すことになったのである。(添付図参照)

2. 便所給排水設備計画

給水設備が一段落となり、いよいよ常設トイレの設置が目標となった。これも昔は水場へ行く入口にトイレ小屋があった。今は朽ちたトタンの痕跡が僅やぶに紛れているのみである。

イ) トイレ仕様 これはいろいろ考えた。まず昔ながらのボットン便所。不潔、能なしで、論外。ベルクハイムの地形を映写機のごとく総なめしているうちに、ふとカメラアップされたのが、先の水量調整用分岐配管。あれを使えば、

水洗便所が作れるのではないか。

時代の趨勢は水洗便所であり、水洗便所に決定まではすんなり。あとは現地の特殊な状況を考慮しての方法論となる。平地で便所を作るような訳にはいかない。便器の材質の問題、凍結の問題―以上については、以前の会報に掲載してあるので省略する。

ロ) トイレ給水 どうせやるなら、便器に水を流すだけでなく、手を洗ったり、汚れを当事者に始末していただけるよう、水栓を付け、ビニルホースもつけよう。便器へはコックを90度回すだけで水が流れるようにしようなどと、楽しく考えることができた。

冬の凍結防止対策は配管の水を抜くこと。これが原則である。配管分岐のバルブから先で、最も低い場所(カマドの奥の所)で水抜きバルブを設け、冬前に便所の水を抜くようにする。

ハ) トイレ排水 これが一番問題である。計画では山小屋から離れた場所に大きな穴を掘り、洗浄した水ごと溜め、地中のバクテリアで分解させる方法をとることにする。

ニ) 現場施工 給水配管は何も問題なく施工完



了。排水は、まず穴掘りで問題発生。木の根や
笹の根で、削掘不能。急遽変更し、斜面上の配
管をなるべく下まで伸ばし、そのまま放流する
ことにした。一年間に使用する量はそれほどな
い為、これでも十分と思われる。

(编者注：もし、問題視される程になったら、
その時は嬉しい悲鳴をあげて、やり直しま
しょう。召集責任者やります。)

以上の経過により、ベルクハイムの給排水設
備工事は完了した。最後にベルクハイムに設置
しておく予定の説明書を添付しておく。

これまでの工事で、材料の調達、施工面で多
大な努力をしてくれた13期大島君に、最大の感
謝の意を表します。

3. 米春山小屋酒場作業予告

毎回、帰り際に、次の作業は何をするかを相
談して決めるのですが、今回は相談するまでも
なく、床板の張り替え作業となりました。奥の
方から床の合板が腐ってきており、恐くて踏め
ない状態です。次回は多数の人手が必要となる
ことが予想されますので、是非皆様、ご参加下
さいますようお願い申し上げます。

13期 吉田 穂積

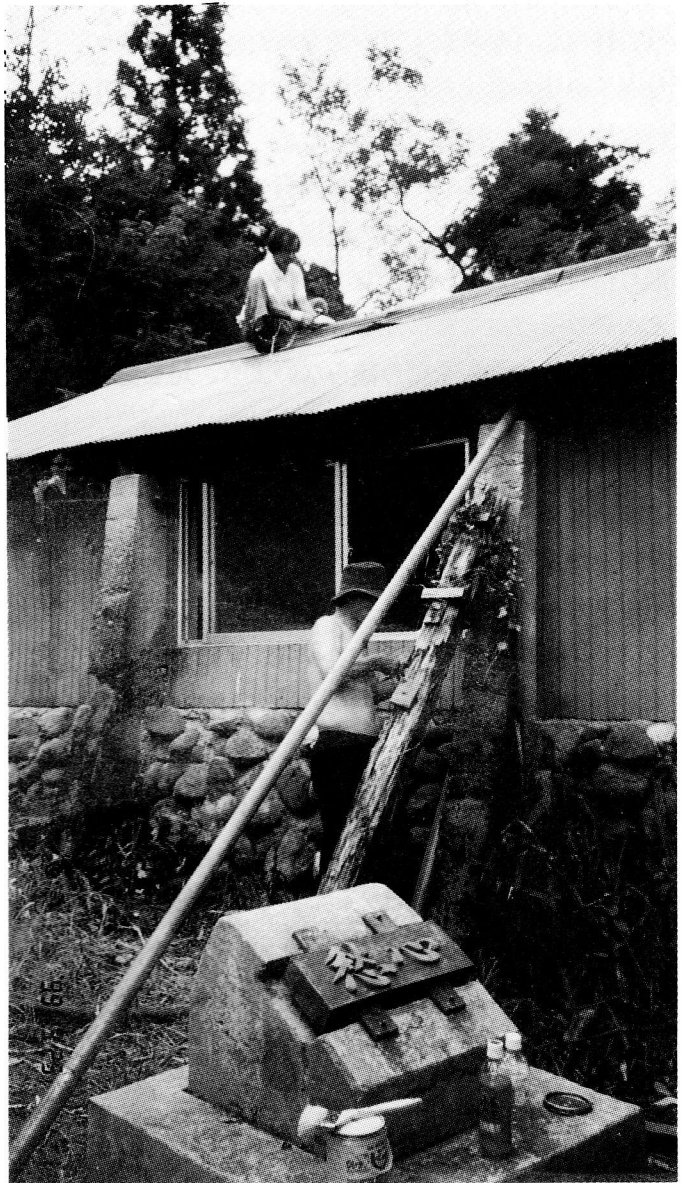
山小屋作業に皆と一緒に朝から入るつもりで
いたが、仕事の都合で、屋に一人で入ること
になった。

ダムには数人の見物客がいたが、それより先
は誰にも会わない。

ベルクハイムに近づくと、金槌の音。やって
る、やってる。登って行くと皆それぞれ持ち場
で作業をしている。

吉本が屋根の上でトタンを張っている。あれ
っ、一週間前、現役の人達が修理してくれた筈
なのに。

(実は、一週間前、次回の山小屋作業に必要な
材料をメモっておいた手帳が見つからず、や



むなく倉谷へ調べに来た。その時、ベルクハ
イムの棟のトタンが2枚程飛ばされて、空が
見えていた。登山道整備作業を終え、下山し
ベルクハイムで休んでいた現役達に、時間が
あれば直しておいてくれないかと頼んだ所、
疲れていただろうに、すぐ修理に取りかかっ
てくれたのだ。)

波トタンの底側に釘打ちしてあるものだから、
雨が溜まって漏れるので、釘を山側になるよう
打ち直しているのだという。なるほど。荷物を
降ろして、早々にトイレ建設作業に加わった。

前回、刷毛がないので、枝の先に軍手をくく
りつけてクレオソートを塗ったが、はかどらな
いので、しまいには軍手を手に嵌めて缶に突っ
込み、柱を握るようになってまで塗ってきた。と

ころが、樹皮は割りと簡単に剥がれ落ちてしまう。柱はしっかり立っていてくれたが、クレオソートの染み込んだ樹皮は剥落しており、前回の作業は全くの無駄となってしまうていた。

トイレ屋根の透明アクリル波板の取り付けから手伝う。ベルクハイムの屋根と連続する形で取り付けのだが、結構急で、軒先に座り、つんのめりそうになりながら、こわごわ釘止めする。アクリル波板を踏み破らないよう、足を懸け、先端の方も釘止めする。

下から芳しい甘い香りがしてきた。「おやつですよ」の声。舟田さんの焼いてくれたホットケーキである。でかい食器にナイロン袋入りのインスタントコーヒーで、アララと目分量を誤る。えらく苦くなってしまったコーヒーに砂糖と湯を継ぎ足して飲む。こじんまりとした穏やかな時間が流れていく。

一服してから、トイレ側壁工事に取り掛かる。曲がっている柱に桟を段違いにならぬよう下駄をかませながら打ちつけていく。ついで波トタンを波打たぬよう、あるいはコーナーで傾かぬよう、調整しながら打ちつけていく。案外うまくいった。

谷間の日暮れは早い。薄暗くなって奥名が秋刀魚をベルクハイムの前で焼く。ビールの空罐に金網を載せ、カセットコンロでも遠目の強火

のこだわり。すっかり暗くなって、魚も焼き上がり晩飯だ。舟田さんの心づくしの料理である。大出さんの思い出、田村さんの峠での熊との格闘、辰野の石川動物園の仕事の話などなど聞きながら、罐ビールと少々のおかずで腹一杯になってしまう。胃がずいぶん小さくなってしまったのが残念無念。

今日の田村さんはおとなし目である。皆も作業で疲れたのか、早めの就寝。明日のトイレ完成を楽しみにしながらシュラフにもぐり込んだ。

秋の山小屋酒場

9月25日・26日

参加者 辰野 吉田 吉本 (以上13期)

田村 (0期) 奥名 舟田 (15期)

15期 舟田 節子

またしても台風 (18号) にヤキモキさせられたものの、今年最大の台風は前日夕方に通過。ひとまず、台風一過—ということになったのでした。

また遅刻かと、大島さんに電話したら「来週かと思っていた。もう医者に予約いれてある」



奥名 田村 吉本 吉田 辰野

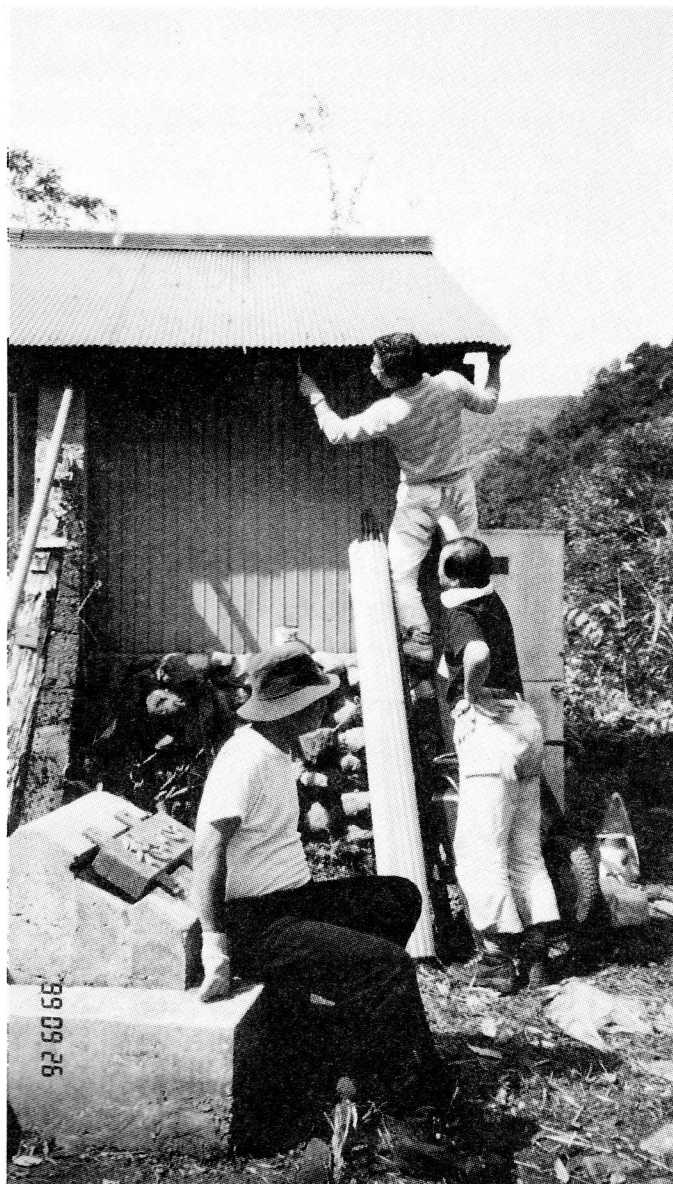
撮影: 舟田

でバス。この大物ぶりがハハ。(いえ、新トレ事故後のたいへんな時代を支えたのも、OB会というとんでもないものを支えぬいたのも、大島様の器でありました。私は利屋町に足に向けて寝てはおりません。)穂積さんは急患が入り午後入山ということで、辰野カー1台でゴー。途中、恒例の場所でビールを仕入れるも、かなり数を吟味。持てないというより、もうそんなには飲めないーが現実でありました。ついでに喫煙者もいなくなりました。煙でテントの中の向こうが霞んでいたことも、もう昔話です。

例の崩壊箇所は路肩も新しく、難なく、通過できました。(現役の出発前のうちにちゃんと電話で確認しました。当たり前のこと聞くな風のいじっかしそうな口調が返ってきて、少しいじけました。)屋奥方面にはまだ雨雲がふわりでしたが、行軍と共に後退。ひとまず、傘なし、合羽ズボン入り状態で、ツリフネソウ、ハクサンアザミの咲き乱れる道を歩きました。崩壊の進んだ箇所もありましたが、長雨続きだった昨年に比べれば、並の経年変化といった所。

先週の現役達の作業で、大々的に刈り開けされたBH。やはり人のいた形跡があると心嬉しいものです。連絡通り、戸の蝶番が外れ、小屋奥には数箇所踏み抜いた跡がありました。入ってすぐの所も濡れて合板がまくれかかっています。根太は大丈夫で、ともに上からの雨漏りが原因のようです。

まкруていたトタンは吉本さんが屋根に登って打ちつけました。小屋の反対側にロープを縛り、屋根を乗り越させて、それを手繰って屋根に攀じ登られました。ここへ来るといろんな智恵に感心してしまいます。デスクワークのハイテクは、智恵や達成感を奪っている気がします。知人の日本最良ドイツ人はたっぷりの余暇という雇用情勢の中で、和様座敷の手作りに凝っていると聞きました。OBのノスタルジア?こだわり?いえ、積木を手にした幼児の目の如きキラキラ…21世紀の趣味を先取りという雰囲気です。ただ、こうなると、バッサリ、ギーコギー



コ道端に捨てておけの伐開とは違い、手順、強度、技術諸々が必要になり、相応の人夫の質が求められてしまいます。そこで、教祖様と私は使いっぱなしで汚れて溜まるだけのビニルシートを拡げて、拭いては畳みの、結構果てしない仕事の方に専念しました。

穂積さんも到着されて、トイレ大作戦のドンパチはさらに高らかに静かな倉谷に響き渡ります。援護射撃は「来た時よりも太らせる」のが使命の、ちょっと焦げたなホッケーキです。

やめられない!とまらない!も暗くなれば、上がりで、夕餉です。ガスコンロも随分傷んで、小屋酒場の年季を物語っています。ロウソクの光、そして外にはまぶしいほどの十六夜の月。皆さんそろって会社やサークルでは唯一の携帯

持たず人間になっているらしく、あるいは小屋好きの人ってそうかもしれません。

夜中には、台風は過ぎた筈なのに??ほどの雨が降り、ついにはポタッ、ポタッと例の箇所から雨がしたたり始めました。バケツをおいてなあるほど。一代目が10年、この2代目はすでに25年。手入れをしてやらねば、跡形もなくなった倉谷の廃屋群と同じ運命をたどることでしょう。建て直すなんてほぼ不可能であるからには、早め早めに修理していかなば。

翌日は、「仕事をしなさい」とばかりに、これまたカラッと晴れたのでした。トイレ作りはいよいよ佳境に入り、「ありゃ、遊んでいるんだよ」と苦笑するくらい楽しそう。釘の一本一本も丁寧に曲げて、最後にはペーパーホルダーもつけて、ついに完成したのでありました。

あっぱれ、お見事。ちゃんと試してみました。赤いレバーをひねれば、水は滔々と流れ、音の心配も匂いの心配もなし。思わず笑っちゃって、腹圧もかかり、出のよくなるトイレです。

今夏北アへ行って、どの小屋も水回りが快適、

清潔になっているのにびっくりしてきました。中高年登山ブームの現在、山は不潔でも当たり前がもう通らないのでしょうか。そして、確かに、水回りが快適というのは、心安らぐことで、疲れが癒されることでもありました。小屋にトイレあるいはなくてもと思えぬこともなかったのですけれど、現に出現してみると、ふつふつと、これから小屋の新しい時代が始まるの予感が湧いてくるのでした。

帰りのダムからは高三郎が見えていました。今年も登山道整備がやれた、そして遊び心満点のトイレも出来た。来春も再見！

後日談--15期入部30周年イベントは、ここ倉谷で中年トレーニングを行うと決まりました。舟付場から小屋まで資材を運び上げ、トイレも使いまわります。

おりしも2000年ミレニアム。おしきせミレニアム品をデパートで購入するより、BHにミレニアムの汗を落としてみませんか？そのことにピカ一の満足を感じるあなたがいる筈です。



コンロはこんなことにも使われます。ホースの破損部には接合器具が両端にセットされ、完璧に補修されてしまいます。